

四方山話 ⑳

『歴史を学ぶのはなぜ？』

歴史は覚えることが多く、「昔のことを覚えても役に立たない」という疑問を持つ人がいるかもしれません。

「歴史は繰り返す」と言われます。例えば、文化の絶頂期は戦乱の時代からおよそ100年かかるという事実を歴史は教えてくれています。ヨーロッパでダ・ビンチやミケランジェロといったイタリア・ルネッサンスを代表する偉人が活躍したのは、メディチ家ができてから100年です。ヨーロッパ文明が最も栄えたのは、ナポレオンがワーテルローの戦いで敗戦した1815年から100年後でした。日本でも1600年の関ヶ原の合戦から100年後の元禄時代に、井原西鶴、松尾芭蕉、近松門左衛門などが出て、江戸文化の最盛期を迎えています。この物差しを当てれば、現在は第二次世界大戦が終わって約75年、文化が栄えるのはもう少し先ということになるでしょう。

歴史を学ぶことは、同時にこれからの時代
を予測することでもあるのです。すなわち、
「過去を学んで未来を知る」ことであり、そ
こに歴史を学ぶ意義があると思います。